校友時報

平成6年4月6日
編集人兼発行人
秋田県能代市高瑞2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所　㈱大勝堂印刷

おめでとう323名

第49期生が入学

新入生 女子が46.7%

きょう一時から、平成六年度の入学式が行われる。今日の新入生は新制第四十九期生に当たる。三百二十三名のうち女子が百五十一名と例年になく多い。今日は生司とき子さんが新入生を代表して宣誓を行う。

高校三年間は心身の大きな成長が見られ、又将来への地歩を固める時でもある。来年本校は創立七十周年を迎える。学習面はもちろん、あらゆる場面で活躍し、また新たに出会う友達、先生、先輩との関係などから人間性を磨き、新しい自己発見に努めるとともに、高校生活を大いにエンジョイしてほしい。

合格発表を見に集まった人たち

能代高校 入学特集号

今日入学式を迎える三百二十三人の新入生をお祝いし今後の活躍を期待して、特集号を編集してみました。

国公立百人突破を達成

粘り強い努力が実る

三月に卒業した人たちの進路状況が大体まとまったが、本校史上はじめて、国公立大学の合格者数が百四人と百人を突破したことが大きく評価される。地道な粘り強い努力の成果である。又医療技術短大の合格増、就職百%達成など、健闘が目立った。

今春卒業生の進路状況
（進学関係）　3/31現在

現浪別 / 合格進学 / 校種別	現役 延合格	現役 実人数
国立大学	95	94
公立大学	11	11
管外大学	4	3
（国公立小計）	110	104
私立大学	138	107
4年制合計	248	
国立短期大学	9	7
公立短期大学	10	9
管外短期大学	0	0
私立短期大学	15	12
（短大合計）	34	28
専修・各種	43	38
総計	385	

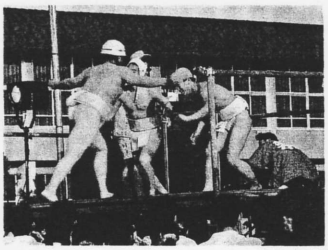
能高見聞録特集／本校紹介

能代高校の生活の一端を紹介しよう。一年生諸君の新鮮な眼差しを注げば、より一層の楽しさが発見されるでしょう。

題して好評の「能高見聞録」

右はご存知「**自在の像**」。東方を指し、未来へ向かう若人を象徴している。製作者は美術担当戸松先生。能高祭のときだけは、訪れる淑女を気にして、素敵なふんどしをつけることになっています。

例年五月に行われるHR対抗大会、球技が中心だが綱引きやリレーもあります。上級生のクラスでは特注のユニホームを作ってクラスの団結ぶりをアピールします。



六月末には一年生アンケートで一位に輝いた**能高祭**。進学校の本校は、ハードな学校行事は一学期中に終え二、三学期は勉強に励むというどの程かためしてみたい。

過ごし方をしています。サスガ!!

能高祭は、文化部展、職員作品展、そして前夜祭のの夜祭のフォークダンス。マイムマイムでは能高生が「狂い」ます。一言アドバイス「新しいソックスははかないこと。」

九月には十里強歩があります。午前零時校門前スタート。女子は今年は森岳発。鶴川、逆川を経てゴール。

二年の秋に**修学旅行**があります。映画村では里見浩太郎と会いました。今年は野口五郎……ウッソー!!とにかく、グループで京都の町を自由に見学できるのは最大の楽しみです。

駆け足紹介の最後は**卒業式**。本校には「皆勤賞」がありません。三年間欠席などをせずに、受賞をねらいましょう。

文武両道めざす

新入生に抱負を聞く

新入生323名の中から4人の人たちに、入学後への抱負を聞いた。勉強に部活動に、ヤル気満々のフレッシュマンたちである。

高校生活へ挑戦せよ

生徒会長　葛西恵介

葛西生徒会長

みなさん能代高校へようこそ。みなさんは、今年の巨人の落合なみに期待がかけられている、期待のルーキーです。在校生はもちろん、先生方も新入生の諸君の多方面での活躍を期待しています。静かに後ろに引込んでいることなく、自分の力を最大限に発揮して、新しい学校生活に挑戦してください。

さて、文武両道をめざす我が校は、勉強はもちろんのこと、部活動に力を入れています。部活動を通して先輩達との結びつきを持ち、楽しい学校生活を送ってください。

二カ月後の能高祭では、能代高校の一戦力となっていてくれるように祈っています。

勉強を第一に 兄を越えるゾ

能代二中出身　藤田匡佑

藤田　匡佑くん

まずは第一に勉強に力を入れたい。中学校では野球部でレギュラー、そして生徒会長と三年生の一年間は忙しい毎日をすごしてきた。学習面に力を入れたい理由の一つには「兄」という存在がある。とにもかくにも五歳年上の兄を越えたいと思っている。自分にとって兄は「追いつけ追い越せ」の存在である。その兄が教えてくれた十里強歩は能代高校の行事の中でも最も楽しみにしているものの一つである。小学校の時から四十キロを早く歩いてみたいなあ、と思っていたほどだ。

しかし、「まずは勉強」中学校で成績が上位だったとはいえ高校でどうなるかはまだ分からないので、自分の力が自分の意志によって学ぶ位置に立った今、一番力を入れたいことは勉強だ。高校の授業は進度がとても速く予習をしないとついていけないそうなので、予習をするのは当り前だと聞かされている。飽きやすく、物事が長続きしない私に毎日の予習が続けられるかどうかは不安なところだ。初めのうちはあまり力まずに、毎日机に向かう習慣を徐々に身につけていきたい。

文化祭、十里強歩などの学校行事、そして新しく広がる友情の輪はきっと高校の三年間を思い出深いものにしてくれると思っている。

自分の意志で選んだ道だからこそ、責任をしっかり持って、自分なりの目標の達成に着実に近付いていけるような充実した高校生活を送りたい。

予習を大事に 友情も深めて

東能代中出身　成田聡子

成田　聡子さん

サッカー頑張る 能高祭が楽しみ

鷹巣中出身　大貫泰広

大貫　泰広くん

能代高校では勉強は勿論だがサッカー部でがんばってみたいと思っている。中学時代野球をやっていたが最後の試合で負けてしまい、くやしい思いもしたので、それをバネにし、「今度はサッカーで」と思っている。

また中学校では生徒会長をやっていたので、生徒会が中心となる能高祭も今からとても楽しみだ。

高校説明会で渡された課題を教科書を見ながら進めているが、国語と英語が得意という自分にとっては数学に難しく思われる部分もある。だから自分で調べて解けた場合はなおさら嬉しく、おもしろみまで感じられる。大学に進みたいと思っているので、今のこの調子でがんばりたい。

目標に向かって 成績伸ばしたい

東雲中出身　永井由紀子

永井由紀子さん

念願の能代高校に合格することが出来た今、私は高校生活に対する期待と不安でいっぱいである。

一番不安なのが勉強について。成績を伸ばしていけるように、家庭学習では毎日、予習・復習を計画的にやろうと心がけて授業に臨みたいと思っている。そして、何か一つ大きな目標を持ち、それに向かって前向きにがんばれたなら、きっと高校生活も充実したものになるだろうなあ、と思っている。

また、先生、先輩、友達など、新しい人との出会いを大切にし、これから始まる高校生活を、まだまだ不安はあることではあるが、有意義に過ごしていきたい。

来たれフレッシュマン
一緒に〝校友時報〟を作ろう!!
――知性と活力いっぱい――
新聞部